

Topics

「ちんぷいぶい」でおなじみ、客員教授 石田英司氏が連続講義

MBSの情報エンターテインメント番組「ちんぷいぶい」にレギュラー出演している石田英司氏が2014年度に通年で講義を行った。

石田氏は13年度より追手門学院大学客員教授に就任、連続講義や公開授業を実施している。14年度はキャリア形成支援プログラムの一環として、社会人としての基本的な考え方を身につけるための授業「社会人の基礎」で、「ユースを読み解く」「株価から企業を見る」をキーワードに授業を展開した。

1月8日(木)の授業では「2030年の、働く、を考える」をテーマに、記者時代の取材秘話などを交え、わかりやすく時事を解説。約40名の受講生たちは、それぞれ15年後の姿を予想しながら、多様化する日本の労働について学んだ。



Topics

一般入試志願者伸び率 日本一へ！

全国主要私立総合大学104校の2015年度一般入試志願者数ランキングにおいて、本学が前年比伸び率全国1位となる可能性が高いことが分かった。教育情報会社の大学通信が3月4日付で発表(速報値)したところによると、前年比44.6%の伸び率となっており、2位の東洋大学に10.8ポイントの差をつけている。この数年の入試改革が着実に成果を上げていくことがうかがえるという。

●2015年私大志願者数/昨年比

順位	大学	志願者数	昨年最終	昨年比
1	追手門学院大学	7,112	4,917	144.6%
2	東洋大学	83,407	62,357	133.8%
3	拓殖大学	12,677	9,767	129.8%
4	大阪産業大学	3,193	2,485	128.5%
5	成城大学	17,434	13,691	127.3%

※大学通信調べ(3月4日付・速報値)

Club & Circle

体育会・学生団体優秀実績一覧 [9月~2月]

団体名	開催時期	大会名等	実績
アメリカンフットボール部	9月7日~12月7日	関西学生アメリカンフットボール連盟秋季リーグ	2部Aブロック 第1位 入れ替え戦の結果2部リーグ残留
剣道部	11月16日	第62回全日本学生剣道優勝大会	出場
硬式野球部	8月27日~10月4日	阪神大学野球連盟秋季リーグ戦	2部東 第3位
サッカー部	4月5日~11月22日	関西学生サッカーリーグ	2部Bリーグ 第2位 入れ替え戦の結果2部Aリーグ昇格
女子サッカー部	9月14日~11月1日	関西学生女子サッカー秋季リーグ	2部リーグ 第1位 1部リーグ昇格
少林寺拳法部	11月30日	少林寺拳法全日本学生大会	3人掛けの部 第4位
漕艇部	10月31日~11月2日	第25回関西学生秋季選手権大会	女子ダブルスカルA 季決勝進出 男子舵手つきフォア 季決勝進出 男子シングルスカル 6位
卓球部	8月27日~9月5日	関西学生卓球秋季リーグ戦	4部C 第2位
テアリーダー部	1月16日~18日	世界大学チアリーディング選手権大会	ALL GIRL部門 第4位
日本拳法部	12月6日 11月2日	白虎会優勝大会 大阪府民大会	女子有段の部 第2位 武段の部 第2位
バドミントン部	9月13日~9月26日	関西学生バドミントン秋季リーグ戦大会	6部 第1位 5部リーグ昇格
ラグビー部	9月21日~11月30日	関西大学リーグ	Cリーグ 第5位
女子ラグビー部	11月15日~16日	大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会	第3位
洋弓部	12月6日~7日	第19回関西学生アーチェリーインドア選手権大会	第2位
	9月12日~14日	第53回全日本学生アーチェリー個人選手権大会	予選7位通過 決勝ベスト16
	2月14日~15日 2月24日~25日	第24回全日本室内選手権大会 第15回全日本学生室内アーチェリー個人選手権大会	出場 出場

Topics

キャンパス内の遺跡 調査・整備が完了

学内には古代の遺跡が2つ存在する。一つは「將軍山第1地点遺跡」。今回の調査で壺の棺が埋設されており、古墳時代より前にできた墳墓だと判明した。珍しい例で、茨木市周辺に点在する古墳の原型との見方もある。もう一つは、中等学校内にある「真龍寺古墳」で、6世紀後半のものだと推定。この地の有力者のお墓と考えられ、副葬品の多くは盗掘されているが、須恵器や耳輪など一部は本学に保管している。1月15日(木)、両遺跡整備が完了し、お披露目会を開催。將軍山第1地点遺跡は平日午前10時~午後4時まで一般公開中(本学の定める休日を除く)。「真龍寺古墳」の見学は事前予約が必要。



2014年度「プロジェクト」報告会 「プロジェクト」は、その名の通り、地域社会や企業など、学外のさまざまな団体とも連携・協働しながら「プロジェクト」に取り組み。春学期4つ、秋学期6つの個性あふれるプロジェクトを実施。14年10月9日(木)と、15年1月15日(木)に行った報告会で、「追大ミツバチプロジェクト」が春・秋学期ともMVP(Most Valuable Project)に輝いた。二ホンミツバチをキャンパス内で飼育するというもので、予期せぬハプニングをチームの団結力で乗り切ったことや大学・地域との連携が評価された。15年度は11のプロジェクトを開講する。対象は全学生だが、参加条件の説明会は1月に終了。1年生は秋学期開講の2つのプロジェクトが履修可能。また「プロジェクト入門」の履修を推奨している。

●問い合わせ/広報課
☎072-641-9590

●問い合わせ/教務課
☎072-641-9614

Topics

華道フレーザーアートクラブがローズWAMより表彰

2015年2月18日(水)、華道フレーザーアートクラブの部長 佐久間一斗さんが、茨木市立男女共生センターローズWAMより感謝状を授与された。2014年12月20



日(土)にローズWAMで開催された「ローズWAM+摂南大学・追手門学院大学連携イベント」にてクリスマスオーナメント教室を実施、小学生から高齢者の方々まで約50名の参加があり、事業に貢献したことが評価された。

Topics

第5回ビジネスプランコンテスト実施

2014年11月29日(土)、ベンチャービジネス研究所は「第5回追手門学院大学ビジネスプランコンテスト」第2次審査「ビジネスプラン発表会」を開催。当日は1次審査を通過した19組の本学学生及び追手門学院大手前高校の生徒たちが、独自に考えたプランを審査員と観客の前で発表した。優秀賞には、かかとを折りたたんで靴底に収納できるハイヒール「フリーヒール」を考えた「Teamフリーデー」が決定。15年度にも同コンテストは実施予定で、募集は8月から開始する。

●問い合わせ/ベンチャービジネス研究所(中央棟1F)
☎072-641-7374
venture@ml.otemon.ac.jp

Topics

平成26年度秘書技能検定で 文部科学大臣賞(団体の部)

平成26年度の秘書技能検定で、本学が文部科学大臣賞(団体の部)を受賞した。この賞は、団体受験校、事業所の中から成績優秀な実施団体に与えられるもので、平成26年度は2030団体のうち3団体に本学が選出された。



また同時に、個人の部においても、本学4年生の上田可通子さん(経営学部経営学科)と鈴木紗耶香さん(心理学部心理学科)が日本秘書クラブ会長賞を受賞した。個人の受賞は、約6万人の合格者の中から100名程度という栄誉。

Topics

18歳選挙権

今開かれている通常国会で、選挙権を18歳以上に改正する法案が上程されています。成立すれば、来年夏の参議院議員選挙から実施されることになりま。選挙権を持つ年齢を引き下げるのは、1945年に、それまでの25歳から20歳に引き下げられてから70年ぶりになるということ。諸外国では、選挙制度がある国の約8割が18歳以上ということなので、国際的にも当たり前のことになるでしょう。

ただ、少し考えておきたいことがあります。それは、20歳代の投票率が、他のどの年代の投票率よりも低いということです。69年の衆議院議員総選挙で、初めて年代別の投票率で最下位になりました。実に、45年にわたって投票率は61.89%でしたが、93年に47.46%となって以来、50%を切り続けています。最近の総選挙では30%代にまで落ち込んでいます。

いったいどうしてなのでしょう。昨年12月の衆議院議員総選挙の後、新聞やテレビの街頭インタビューなどで聞かれる若者の意見では、「政治に関心がない」

人権について考えよう

18歳選挙権

「誰が議員になっても同じ」「わからない」「自分たちの要求が通らない」など悲しくなるような言い分が多く聞かれました。彼らの本音かどうかはわかりませんが、このような報道がされると、若者が「若者はみんなこんな感じだから、政治には無関心でいいのだ」という風潮をほびこらせる危険もあるでしょう。

私たちの実生活や将来の日本の在り方は、政治の決定に大きく左右されます。経済政策、消費税、格差拡大、T.P.P.、年金、社会福祉、集团的自衛権、自衛隊の海外派遣、選挙制度等々数え上げればきりがありません。若者たちの将来を拘束してしまうことがありません。かつては、女性に参政権がありませんでした。納税の額によって参政権が差別されていた時期もありました。今では、参政権は基本的な人権の重要な要素として位置付けられています。現在の参政権の状態は、先人たちが闘いつつきた、文字通り血と涙の結晶だったことを忘れてはなりません。

選挙権が18歳以上になるという機会に、学生のみならず、政治と選挙について調べ、考えることをお勧めしたいと思います。

Award

平成26年度秋の叙勲

遠山嘉博(名誉教授) 瑞宝中綬章 授与元 総務省 (14年11月3日)

第28回 青木賞

藤原英賢(経営学部/准教授) 「内部統制の問題を明示した企業の性質と問題の深刻度に関する研究」 授与元 一般社団法人日本内部監査協会 (14年9月25日)

BOOK INTRODUCTION

追手門学院大学 教員の著書 [五十音順]

<p>教育方法学 研究ハンドブック</p> <p>井ノ口淳三 (国際教育学部) 共著 2014年10月/学文社</p>	<p>台湾エレクトロニクス産業ののづくり</p> <p>台湾ハイテク産業の組織的特徴から考える日本の戦略</p> <p>神吉直人(経営学部)編著 2014年5月/白桃書房</p>	<p>証券アナリスト第2次レベル通信教育講座テキスト2014 第6回 市場と経済の分析</p> <p>櫻庭千恵(経済学部)著 2015年2月/公益社団法人日本証券アナリスト協会</p>	<p>デカルト全書簡集 第三巻(1638-1639)</p> <p>武田裕紀 (基礎教育機構)訳 2015年2月/知泉書館</p>	<p>山口昌男 人類学的思考の沃野</p> <p>橋本裕之(社会学部)共著 2014年10月/東京外国語大学出版会</p>	<p>アメリカスのまなざし 一 再販術化される観光</p> <p>増崎恒(国際教育学部)共著 2014年12月/天理大学出版部</p>	<p>友達は永遠じゃない 社会学でつながりを考える</p> <p>森真一(社会学部)著 2014年11月/ちくまプリマー新書</p>
<p>追手門学院の履歴書</p> <p>自分史を語る 大学編</p> <p>追手門学院大学創立50周年記念事業事務局(学校法人追手門学院 総務部)編 2015年4月上旬予定</p>	<p>事業承継入門 第3巻</p> <p>追手門学院大学ベンチャービジネス研究所(経営学部)編 2015年2月</p>	<p>上町学を創造する よみがえる古都おさか</p> <p>追手門学院大学上町学プロジェクト(地域文化創造機構)著 2015年3月</p>	<p>リスクのもとでの意思決定</p> <p>坂上佳隆(経営学部)著 2015年3月</p>	<p>震災と芸術 地域再生の原動力</p> <p>橋本裕之(社会学部)著 2015年4月上旬予定</p>	<p>国際貿易理論の展開</p> <p>林原正之(経済学部)著 2015年2月</p>	